

学生会だより

北海道学生会の活動

北海道学生会は、4大学（北海道大学、室蘭工業大学、北見工業大学、北海道工業大学）および4高専（函館、苫小牧、釧路、旭川）の8校で組織されている。会員数は2013年3月末で336名である。2012年度は旭川工業高等専門学校が幹事校となって学生会の運営にあたり、2012年7月7日に第1回運営委員会を開催して事業計画について話し合った。

1. 全道学生親睦会

2012年8月20日～21日に深川市のアグリ工房まあぶにて上半期総会と全道学生親睦会が開催され、上半期総会には全道から16名、親睦会には13名の学生と教員が参加した。また、旭川高専物質化学工学科教授の富樫巖氏を講師に迎え「木材腐朽のメカニズムと土木資材のための脱ケミカルな木材保存技術の紹介」との題目で特別講演会が開催された。機械工学分野ではあまりなじみのないテーマであるが、材料強度の劣化とその防止という構造物には欠かせない内容であり、参加者からはさまざまな観点からの質問がなされた。夜はバーベキューを囲み、その後温泉で汗を流したり、ビールを片手に語りながら親睦を深めた。

翌日はバスで旭川まで移動し、旭川家具メーカーの（株）カンディハウスの工場を見学した。同社では、職人による手作業のみならずNC木工機械を用いた加工も行っており、機械工学の観点からも興味深いものであった。



図1 工場見学〔(株)カンディハウス〕

（図1）. 工場の見学後、家具の製造法から家具業界の状況まで質疑応答を交えながら丁寧に説明いただいた。

今回の特別講演ならびに工場見学先は、林業や家具工業が旭川周辺の地域で盛んであることから選定した。

2. メカライフの世界展

「メカライフの世界展」は2012年10月13日、14日に函館工業高等専門学校の高専祭と同時に開催された。機械工学科の4年生が中心となり、紙飛行機大会、真空の体感、ひずみゲージを用いたパンチングマシン、UFOキャッチャー、ロボットアーム操作、スターリングエンジンの実演、NC工作機械による記念品製作、鋳造体験とキーホルダー製作という多彩な企画を実施した（図2）。来場者の子供たちは、展示の数々に目を輝かせて楽しんでおり、学生が手作りしたUFOキャッチャーは、順番待ちの子供たちで大変賑わった。この企画のため、学生は、展示の1カ月以上前から準備を始め、とくに4年生は夏休み中や放課後も使って熱心に準備に当たった。

3. 卒業研究発表講演会

2013年3月9日に旭川市ときわ



図2 メカライフの世界展（函館高専）



図3 卒業研究発表講演会

市民ホールにて第42回北海道学生会卒業研究発表講演会が開催された（図3）。旭川での初の開催となった今回は申込みが190件を超え、例年より講演室数を増やして対応した。本講演会に合わせて特別講演が開催され、旭川高専校長の高橋英明氏に「アルミニウムのアノード酸化とレーザー照射を利用したマイクロテクノロジー」について講演いただいた。講演発表後にはベストプレゼンテーション賞の授賞式ならびに親睦会が開かれ、100名以上の学生と教員が参加した。

2013年度は釧路工業高等専門学校が幹事校となり、8月3日に運営委員会、8月26日には上半期総会および全道学生親睦会が開催された。（旭川工業高等専門学校 堀川紀孝）